

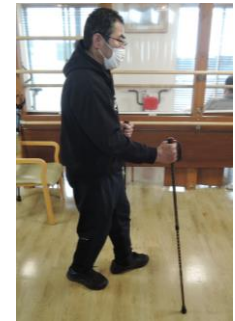
マザーでは疾患や症状に合わせた個別のリハビリを実施しています



パーキンソン病の方への取り組み一例

○特徴的な症状である固縮による筋肉のこわばりにより腰や肩に痛みがある方にはバランスボールや棒を用いて、柔軟体操を行っています。

○運動指令がうまく伝わらなかったり、手足のリズムが合わないことで歩行障害が起こることがあります。目印やノルティックスティックを用いた歩行練習を実施しています。



パーキンソン病は症状の進行が特徴的ですが、運動習慣を身につけ廃用による関節拘縮や変形、異常姿勢、抑うつ傾向にならないようにすることが大切です。早期からリハビリテーションをきちんと行うことで、発症から長い年月が経っていても、移動や食事、入浴などの日常生活動作で介助を必要とすることが少なくなることが期待できます。

 リハビリステーションマザー
Waking&Posture Rehabilitation Day Service

 リハビリスタジオマザー
Waking&Posture Rehabilitation Day Service

空き枠あります。
体験希望の方、是非ご連絡ください。

【ご利用にあたってのお問合せ】
リハビリステーション マザー
427-5363 (安達・西川まで)
リハビリスタジオ マザー
427-5371 (戸田・山本まで)